

謹賀



安心して暮らしやすい

まちに向けて

笠松町長 広江 正明

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町行政に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、熊本地震をはじめ台風の異常発生など、日本各地で甚大な地震、風水害が頻発しており、この地域におきましても、大規模災害に対する備えが一層強く求められるところです。

町では、災害に強いまちの構築のため、平成27年度までに全ての学校施設と役場庁舎の耐震化を完了し、引き続き水害対策として雨水貯留施設整備と排水路改良事業を進めております。また、昨年11月には防災行政無線のデジタル化にあわせて屋外子局の増設により全33基で町内全域を網羅し、緊急時の迅速かつ的確な情報伝達に配慮しております。今後も、災害時応援協定の拡充や、行政と地域、住民の連携による地域防災力の向上など、防災、減災体制の整備充実に努めます。

次に、良好な住環境に向けた取り組みでは、平成25年度より都市公園化に向けて改修工事を進めてきた運動公園は、昨年3月に大型複合遊具、

今年度さらに幼児対象遊具や高齢者向けの健康器具を整備することで、幼児からお年寄りまで幅広い世代が集い憩える場となることを期待いたします。

また、サイクリングロード整備事業におきまして、中継拠点となる水防センター地先の交差点改良や蘇岸築堤記念碑公園の改修を今年度中に終え、今後はさらに河川環境楽園までのコースを整備していく予定であります。

一方、学校教育の分野では、設備、施設の老朽化に伴う新学校給食センター建設事業につきまして、平成30年4月稼動に向けて順調に進んでおり、これからも食の安全を確保しながら、良質な給食の安定的な提供に配慮していきたいと考えております。

直面する主な施策の取り組みについて申し上げましたが、今後も、町民の皆様が「安心して暮らしやすい」と感じられるまちを目指して、各分野の施策を展開していく所存でありますので、皆様には引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。